

まいばらの話題をお届け

Maibara Topics

息長小学校で“すもう大会”



5月25日、息長小学校で4年ぶりに校内すもう大会が開催されました。全校児童が気合あふれる取り組みを繰り広げ、土俵際の攻防を応援する声で会場は大いに盛り上がりました。6年生の優勝した男女が第73代横綱として、優勝旗と綱が授与され、健闘が称えられました。

ほたるまつり音楽祭



6月3日、長岡の西福寺で年に一度のほたるまつり音楽祭が開催されました。天野川ホタル太鼓保存会の中学生による和太鼓演奏を始め、近江高校吹奏楽部やジャズ音楽家など、11のグループが出演しました。会場には、「ほたるこい」という掛け声とともに、太鼓の迫力ある音色が響き渡り、演奏が終わるたびに、音楽祭を楽しむ多くの観客から大きな拍手が送られていました。

天の川ふれあいフェスタ川まつり



6月4日、人権総合センターで天の川ふれあいフェスタ川まつりが行われました。天の川ほたるまつり行事に併せて実施されており、4年ぶりとなった今年は、ステージでよさこいや、書道パフォーマンス、プロレスの試合などが披露されたほか、会場にはキッチンカーや雑貨販売などおよそ20のブースが軒を連ね、多くの人が賑わいました。

新たに米原市文化財を指定しました

5月11日、米原市教育委員会は新たに文化財2件を米原市文化財に指定しました。

米原市上野にある興津家長屋門は、県下でも数少ない茅葺きの長屋門で、かつて伊吹山で行われた茅の採集と活用との関わりもある伊吹山麓の景観を構成する重要な建物です。

曲谷の石工道具は、曲谷集落で盛んに行われていた石臼作りで使用されていた道具です。ヤ、ノミ、タタキなど計190点からなり、石臼作りの過程で消耗していくため、全体が残存していることは少ない貴重な資料群です。

①興津家長屋門
(所在：米原市上野)



②曲谷の石工道具



■広報誌「まいばら」

発行部数▶13600部 単価▶1部あたり31円(1円未満切り捨て、職員の人事費は含まれていません) 次回発行日▶7月27日(木)

広報まいばら音声版▶申し込み、問い合わせは米原市社会福祉協議会(☎543-3100)へ



■市公式SNS

各SNSアカウントはQRコードからご覧ください

